

ベナン月報(2015年9月)

主な出来事

【内政】

- 8日, COS/LEPI は来年2月に予定されている大統領選挙で使用される選挙人名簿を12月15日までに公表する旨発表した。
- ベナン各地で様々な市民団体・政治団体が, 実業家のタロン氏, クパキ前首相, アジャボン・ベナン経団連会長など, 立候補を公式表明していない有力者の立候補を支持するイベントを度々開催している旨, 各紙が報じた。

【外政】

- ヤイ大統領が10月11日に予定されているブルキナファソ大統領選挙の ECOWAS 代表ファシリテーターに選出, 16日に発生したクーデターの調停者としてブルキナファソを訪問した。
- 8-10日, ヤイ大統領及びクチェ財務大臣が訪米し, ミレニアム・チャレンジ・アカウント第2コンパクトに署名した。

【経済】

- (8月31日)2020年に予定されている ECOWAS 通貨統合に関し, 西アフリカ15ヶ国の財務大臣及び中央銀行総裁がダカールにおいて会議を行った。
- 14日, ベナン経済の調査を行っていた IMF の調査団が調査結果を公表した。それによると, 2015年度の経済成長率は5.5%と予測。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L'économiste 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 8日, 司法研修生40名の新規雇用に反対する法曹組合 (UNAMAB) が, ベナン各地で72時間のストライキを実行した。また, 14日には5日間のストライキを開始した。(9日・14日, La Nation 紙)
- ・ 8日, 恒久電子化選挙人名簿指導監督評議会 (COS/LEPI) は来年2月に予定されている大統領選挙で使用される選挙人名簿を12月15日までに公表する旨発表した。(10日, La Nation 紙)
- ・ 9日, ロコサ市でアワジ (M.Pierre AWADJI) 新市長の選出に抗議するデモが行われた。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, 憲法裁判所は独立国家選挙管理委員会 (GENA) フレディ・ウンベジ (M.Freddy HOUNGBEDJI) 委員の予算執行責任者のポストからの解任を承認した。後任にはファシヌ (M.Basile FASSINO) 氏が就任した。(15日, Le Matinal 紙)
- ・ 15日, 国家統計局 (INSAE) 労働組合は, 第4回国勢調査の予算5.62億 FCFA の未払いを受け, 22日から無期限のストライキに突入することを発表した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 28日, 国民議会で2016年の国民議会予算13,442,788,538 FCFA が採択された。(2

9日, La Nation 紙)

【大統領選関連】

- ・ 1日, 国民議会において選挙における生体認証システムの導入が決定された。(2日, La Nation 紙)
- ・ 3日, 大統領技術顧問のトレバ氏(M.Soumanou TOLEBA)が大統領選への立候補を表明した。(4日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 3日, 既に大統領選への立候補を表明しているアムス(M.Fernand AMOUSSOU)元ベナン軍統合参謀長がラジオ局 Solei FM で自身の政策などに関するインタビューに応じた。(8日, La Nation 紙)
- ・ 4日, チャビ・シカ(M.Karimou CHABI SIKA)元 FCBE 議員が大統領選挙への立候補を表明した。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 5日, 第1野党 UN の1派である Force Clé はウンデテ(M.Eric HOUNDETE)国民議会議員を来年の UN 大統領候補として UN に推薦すること決定をした。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, スマヌ(M.Moudjaïdou Issifou SOUMANOU)元商業大臣が2016年の大統領選への立候補を表明した。(当館注:スマヌ氏は第一次ヤイ政権下で商業大臣を務めたが, 2012年にタロン氏などと共にヤイ大統領毒殺・クーデター未遂の容疑で告発され, 昨年5月まで19ヶ月間刑務所に勾留されていた。)(11日, La Nation 紙)
- ・ 9月, ベナン各地で様々な市民団体・政治団体が, 実業家のタロン氏(M.Patrice TALON), クパキ(M.Pascal KOUPAKI)前首相, アジャボン(M.Sébastien AJAVON)ベナン経団連会長など, 立候補を公式表明していない有力者の立候補を支持するイベントを度々開催している旨, 各紙が報じた。

【治安】

- ・ 1日, コトヌ市エトワール・ルージュ広場付近の携帯電話・電子機器販売店に4名の武装強盗が侵入, 現金約1000万 FCFA が強奪, 強盗団の発砲により1人が負傷した。今年に入り同様の犯人によるものと思われる事件は既に3件目。(2日, L' économiste 紙)
- ・ 6日, コトヌ市アミティエスタジアムで行われたアフリカネイションズカップ2017予選, ベナン対マリ戦で, 入場券が席数を大幅に超えて販売され, 群衆事故が発生, サポーター2名が死亡, 多数の負傷者が出た。(8日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日, カンディ市で大雨のため洪水が発生, 家が流されるなど多くの物的被害が発生し, 多くの避難民を出した。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 11日, ペレレ市で憲兵隊と地元ハンターにより, 同地区で恒常的に武装強盗を働いていた強盗団6名が射殺された。その他の強盗団のメンバーは逃走した。(15日, Le Matinal 紙)
- ・ 16日, サケテ市で暴徒化した住民と憲兵隊が衝突, 複数の逮捕者が出た。暴動を起こしたのは貧困街の住民で, 数日前から行われていた憲兵隊による違法居住者の締め出しに対し,

近隣の商店や市役所などで強盗や破壊活動を行っていた。(17日, La Nation 紙)

- ・ 27日, コトヌ市アツパツパ地区で路上で販売されている違法ガソリンに引火し, 大規模な火災が発生した。(28日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ ヤイ大統領が10月11日に予定されているブルキナファソ大統領選挙の ECOWAS 代表ファシリテーターに選出された。(6日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8-10日, ヤイ大統領及びクチェ(M.Komi KOUTCHE)財務大臣がミレニウム・チャレンジ・アカウント第2コンパクト署名のため訪米。ホワイトハウスにてバイデン米副大統領立ち会いの下, 署名式を行った。また, 商工会議所などを訪れ, ベナンへの投資を呼びかけた。(9-11日, La Nation 紙)
- ・ フランス議会の代表団がポルト・ノヴォ市の国民議会を表敬訪問した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 14日, ンゲマ(M.Obiang Nguéma)赤道ギニア大統領がベナンを訪問, ヤイ大統領と会談を行った。両大統領は特に経済的な南南協力について協議し, 相互投資協定を締結した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 15日, カセリア(M.Ram Shankar KATHERIA)インド開発・人的資源担当特命大臣はアカディリ(M.Saliou AKADIRI)外相を表敬し, 10月にインドで行われる第3回アフリカ・インドサミットにヤイ大統領を招待した。(18日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 18日, ブルキナファソで起こったクーデターを受け, ヤイ大統領は ECOWAS 代表調停者としてブルキナファソを訪問した。(18日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 24日, サウジアラビア西部メッカ郊外にある「ミナの谷」でイスラム教の大巡礼(ハッジ)に参加していた信徒らが折り重なって倒れる事故があり, ベナン人10名以上が巻き込まれ死亡した。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, ヤイ大統領はニューヨークで行われた「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を採択する国連サミットに出席した。(28日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ (8月31日)ソノン(M.Gustave Dépo SONON)公共事業・運輸大臣は運輸業者組合と会合を開き, 過積載トラックを取り締まりに関する西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)共通協定14条を, 同日よりベナンにおいて適用する旨説明した。(1日, La Nation 紙)
- ・ (8月31日)2020年に予定されている ECOWAS 通貨統合に関し, 西アフリカ15ヶ国の財務大臣及び中央銀行総裁がダカールにおいて会議を行った。(1日, L'économiste 紙)
- ・ 国家統計局(INSAE)が発表したデータによると, 2015年第2四半期における国別輸出額1位はインド(23.3%)で, 輸入額1位はフランス(13.6%)だった。2位以下は, 輸出ではベトナム(11.2%), マレーシア(9.6%), バングラデシュ(9.6%)で, 輸入では中国(10.1%), スペイン(8.2%)が続いた。輸出総額は131,792.7百万 FCFA(内48.3%が綿

花)で、輸入総額は879, 430. 8百万 FCFA。(1日, L' économiste 紙)

- ・ モロッコ投資企業, EcoGroup ホールディングスは、ベナンにおけるインフラ整備などをはじめとした事業に対し4700億 FCFA の出資を行うとし、ベナン政府と覚書を交わした。(7日, L' économiste 紙)
- ・ 7日, ヤイ大統領はコトヌ市に建設予定の国立劇場の起工式に出席した。総工費は20億 FCFA に上り, 2014年と2015年の国家予算から10億 FCFA ずつ捻出される。(8日, La Nation 紙)
- ・ 14日, 2週間にわたりベナン経済の調査を行っていたIMFの調査団が調査結果を公表した。それによると, 2015年度の経済成長率は5. 5%と見られ, 昨年度の5. 6%から若干の減速がみられるものの, 2013年度の5. 4%と合わせ, 3年連続で5%超の経済成長を実現している。なお, ベナンが貧困の削減に必要な成長率は7%。(17日, La Nation 紙)
- ・ 米シンクタンク international budget partnership が公表したデータによると, ベナンの予算管理の透明性は111ヶ国中57位で, 2012年の98ヶ国中96位から躍進した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日, アビオラ(M.François ABIOLA)高等教育・科学研究担当副首相と中国の建設企業 SINOCONST 社は, ポルト・ノヴォ大学の建設契約を締結した。総工費は約1. 5億ドルに上る。(23日, La Nation 紙)

(了)